

連合
長崎

速報

No.229

長崎市桜町9-6
長崎県勤労福祉会館内
TEL (095)826-8905
FAX (095)826-8950
2009年7月27日
発行 森田 豊
責任者

第45回衆議院議員選挙

“ゴールは8月30日”「真夏の闘いを勝ち抜け！」
全構成組織・地協・組合員は総力を結集し総行動を展開せよ！

「政権交代の夏！」

長崎県第1区

高木義明



長崎県第2区

福田えりこ



長崎県第3区

山田正彦



長崎県第4区

宮島だいすけ



8月18日(火)公示

8月30日(日)投票

「地方や離島には風は吹いていない。」
地道に積みあげ、確実に勝利をつかもう！

「政権交代の夏！」

今回は、われわれ一人ひとりの生活を守るための決戦だ！
悔いを残さず、力の限り汗をかき闘い抜こう！

7月21日衆議院が解散され、8月18日公示、30日投開票の日程が確定した。麻生首相が就任し、解散総選挙が叫ばれた昨年の9月から約10ヶ月もの月日が過ぎ去った。

この間、われわれ働くもの、国民の生活は、自公政権が進めてきた市場万能主義の競争・格差社会へと突入し、生活苦や様々な悩みを抱え年間3万人以上の自殺者を出す殺伐とした社会へと変貌を遂げ、リストラ・派遣切りなど一気に雇用情勢も悪化した。

これまで自公政権が進めてきた市場万能主義、競争・格差社会に決別するときが来た。

われわれ働く者の手に、国民の手に政治を取り戻し、我々の手で新しい政権をつくり、われわれ働く者・国民が安心して生活できる福祉型社会の実現に向けて取り組まなければならない。もう我慢の限界だ。必ず政権交代を成し遂げるべく長崎1区～4区までの小選挙区での完全勝利をつかむため、真夏の30日間、精一杯汗をかき、全構成組織・地協・全組合員一丸となった行動を展開しよう。

これまでの自公政権の主な公約の検証（第一弾）

小泉・自公政権が行ってきた5年間、安倍・福田・麻生政権および郵政民営化選挙から私たちの暮らしがどのように変化したか。今一度、検証し、職場や地域で仲間と論議し、今回の選挙の重要性を再確認しよう。100年に一度のチャンス！「政権交代」のため、組合員一人ひとりが総行動を起こそう。次はない！！

1. 郵政民営化（ネットワークの維持・4分社化）
2. 行政改革（規制緩和）
3. 社会保障制度（医療・介護・年金の安心）
4. 地方分権（三位一体改革・市町村合併）

今回は、この4点を検証してみよう。

- ①「郵政民営化をすれば、全てが変わる。」とした小泉構造改革で郵便局は民営化され、ネットワークの維持は消え去り、郵便局は統廃合され、身近になくなった地域も出現。4分社化で一つの建物の中でも、これまでの連携がなくなりサービスが低下している。
- ②規制緩和の増車で、タクシー業界は疲弊してしまった。
- ③医療・介護は崩壊し、百年安心の年金は、受給額の引き下げが続き、保険料は値上がりしている。
- ④三位一体改革で交付税は減額され、行き過ぎた市町村合併で地方は疲弊し、行政力は一気に低下した。暖かさに欠ける行政サービスになってはいないか。

（次回：第二弾掲載予定）